

# 衣笠学区

- ・人口 6,610人
- ・世帯数 3,643世帯

\*人口、世帯数は令和8年1月1日現在  
(京都市住民基本台帳より)

## <住民組織の名称>

衣笠学区社会福祉協議会

## <主な年間行事>

- 4月 平野神社『桜祭神幸祭』
- 5月 ソフトボール大会・ドッチボール大会
- 6月 歩こう会
- 8月 衣笠夏祭り・地藏盆
- 9月 グラウンド・ゴルフ大会
- 10月 区民運動会  
六請神社『神幸祭』
- 2月 ボーリング大会・防災訓練



くすの木の下に集う衣笠

## <学区の概要・活動PR>

衣笠の地名は、宇多法皇が夏の炎天下に山に白絹を掛けて深雪の風情を楽しんだという伝説に由来し、万葉集にも詠まれるほど歴史に名を残しています。平野神社の東側の御土居の一部や鳥羽伏見の戦いに利用された薩摩藩の小松原弾薬庫が史跡として残っています。また、日本映画発祥の地としての等持院（マキノ省三像）など、芸術文化のまちとして知られています。

子どもたちが安心安全に育つ地域をつくるため、民生児童委員会やPTA、小学校見守り隊による子どもたちの登下校の見守り活動を実施。また、就学前児童を対象とした「こそだてサロン」（毎月第1木曜日）を児童館・保育所等の先生方やスタッフの協力のもと開催しています。

また、高齢者がいきいきと暮らす地域をめざし、民生児童委員会・老人福祉委員会・社会福祉委員等による「すこやかサロン」（毎月第3木曜日）を開催。外部講師によるアカデミックな講義・講演のほか、スタッフ手作りプログラムも好評です。

毎年8月下旬には、学区の一大イベントとして衣笠小学校グラウンドにて「衣笠夏祭り」を実施しているほか、11月には保健協議会を中心に、学区挙げての一斉清掃を行っています。



こそだてサロン



すこやかサロン



衣笠夏祭り